

新たな可能性への挑戦！！

非常用地上バッテリー装置による列車の自力走行に成功！

非常用地上バッテリー装置を使用し東西線西葛西駅～南砂町駅間 2.7 km を走行

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、震災等の影響により停電が発生したときに、お客様に安全かつ迅速に避難いただくため、駅間や長大橋梁に停止した列車を最寄り駅まで救済するための非常用走行バッテリーの研究を進めております。

平成 26 年 1 月 26 日に、株式会社日立製作所と協力し、「非常用地上バッテリー装置*」に蓄えた電力のみを使用し、東西線西葛西駅～南砂町駅（2.7 km）の列車自力走行に成功いたしました。

この装置のバッテリーはリチウムイオン電池を使用しており、リチウムイオン電池を使用した非常用地上バッテリー装置のみによる列車の自力走行は国内初です。

※ 非常用地上バッテリー装置は、駅・駅間等に設置するもので、通常時は回生電力を吸収して蓄えた電力で加速列車をアシストすることで省電力化に貢献しつつ、非常時は電車線に電力を供給することで、駅間や長大橋梁に停止した列車を停電時でも最寄り駅まで救済することを可能にするものです。

今回の列車自力走行実験の結果を踏まえ、お客様にいっそう安心してご利用いただけるような新たな鉄道システムの構築に取り組んでまいります。



【運転室の様子】



【非常用地上バッテリー装置外観】

計測情報	
き電線電圧	1600 V
き電線電流	-392 A
充電電力	0 kW
放電電力	629 kW
母線電圧	11.0 kW

蓄電池計測情報 電力情報 戻る

【放電中の表示パネル】